

別海町郷土資料館だより

No.73・2005・8

ふるさと講座のお知らせ

野付半島遺跡群発掘調査現場見学会

今年度のふるさと講座第2弾は、野付半島先端にある通行屋遺跡発掘調査現場の一般公開をいたします。またバスの中では、床丹から尾岱沼・野付半島の歴史や地名について解説いたします。ぜひこの機会に、野付半島の歴史と自然を体感してみてください。

日 時 平成17年8月27日（土）午前9時～午後3時

場 所 野付通行屋跡遺跡発掘調査現場

内 容

①「野付通行屋と加賀伝蔵」～今回見学する通行屋跡遺跡について加賀家文書館に展示してある復元ジオラマなどを見ながら解説します。また行きのバスの中では、床丹から尾岱沼、野付半島の地名や歴史についてお話しします。
講師 別海町郷土資料館附属施設加賀家文書館 調査員 戸田 峯雄

②「野付通行屋跡遺跡発掘調査現場見学会」～発掘現場を見学していただき、今回の発掘調査の経過・成果などについて解説いたします。
講師 別海町郷土資料館 学芸員 石渡 一人

募集人員 40名

参加申込み先 別海町郷土資料館に電話・FAX、E-Mailのいずれかの方法でお申し込み下さい。その際、ご住所、お名前、電話番号をお知らせ下さい。

電話・FAX 0153-75-0802 E-Mail : kyoudo@betsukai.gr.jp

申込み受付期間

平成17年8月26日（金）まで。ただし、定員になり次第締め切ります。



一昨年度の見学会の様子

その他

①午前9時までに加賀家文書館に集合願います。見学はバスを用意いたします。また、東公民館で乗降希望の方は、申し込み時にお知らせ下さい。東公民館出発は午前9時50分、到着は午後2時30分を予定しております。

②発掘現場で必要になりますので、長靴を履いてくるか、あるいは持参してください。また蚊に刺されないように、虫除けスプレーの持参、長袖のシャツ・帽子の着用をお勧めします。

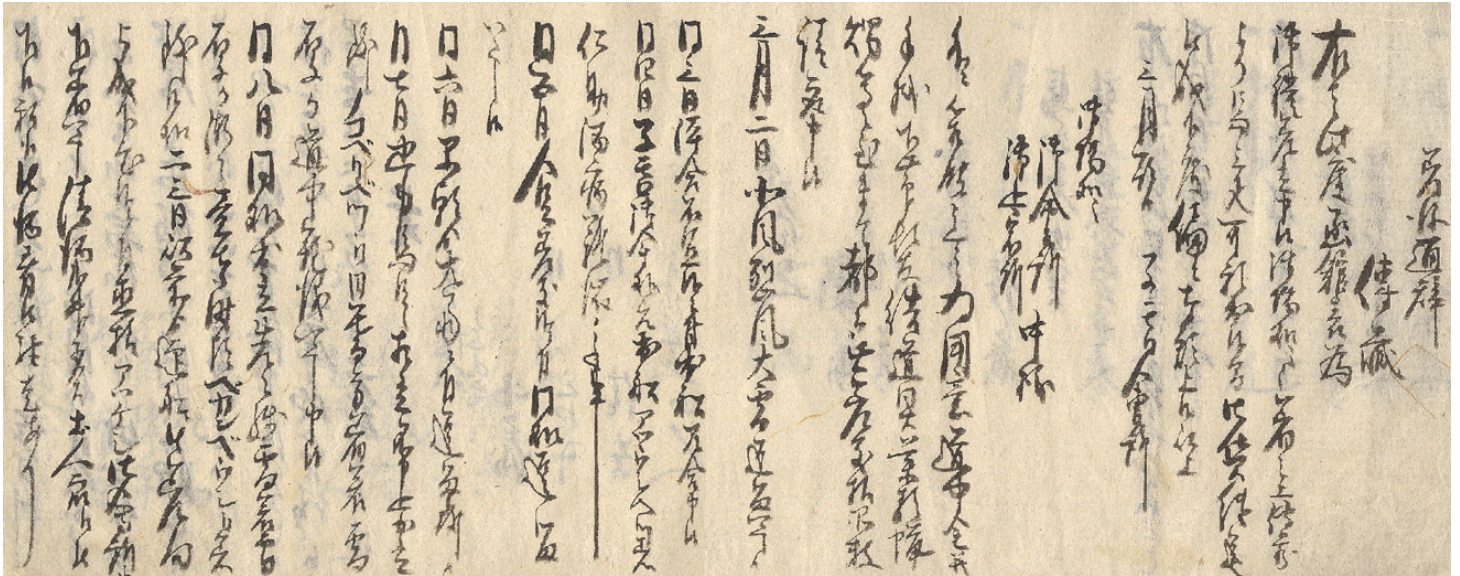
③昼食を各自持参してください。また食事は発掘現場でとる予定ですので、敷物などを持参してください。

④発掘現場入り口より発掘現場まで2km（往復4km）ほど歩いていただくことになります。

⑤雨天の場合は中止とし、参加予定者に電話連絡いたします。

「加賀家文書」の調査研究から～その17

調査員 戸田 峯雄



加賀家文書「安政六未年 土人御目見附添并喜多野様井上様竹内様御取扱日記」より(加賀家文書館蔵) ※合成加工しています。

さて、いよいよ出発です。その部分の原本を上に乗せました。

3月2日「北風烈風大雪逗留いたし候」。なにせ文末がほとんどこの「候」なんです。

3月3日も波が高かったのか出船を見合わせています。

講座のスライドでお見せした北海道地図は、正確には「東西蝦夷山川地理取調図」(とうざいえぞさんせんちりとりしらべず)で、松浦武四郎のもので。当館には、ほとんどの巻が所蔵されています。松浦武四郎からの手紙によると、ノツケの伝蔵宛てに贈られたもののようです。

子モロ(根室)から出帆し、トウフト(遠太~アイヌ語で「沼の入口」)から風蓮湖に入り、アツウシベツ(厚別)へ着き宿泊。波や風などの影響で、トウバイ(東梅)の方からも出入りしたようです。また、アッケシ(厚岸)へは、陸路、ハナサキ(花咲)へ出て、海岸を歩いて行く道もありました。勿論、アイヌの人たちは小舟でどこへでも自在に行き来したようです。草を掻き分けて通るところも「道」で、アイヌ語で「ル」といいます。舟の通る道は「チフルー」です。別海町にもいくつかあります。本別海から走古丹への途中にある「ルツチャル」「ルエサンサル」「チフルー」そして「シカルンナイ」などです。

3月4日にアツウシベツに着きました。当日配布した「資料集」1頁にアツウシベツにあった建物を

載せています。ここでは、仁助の病気が悪化します。更に、人足不足、大雨で出立できず、翌日の7日になっても馬は使えず、ぬかるみの中をノコベリベツへ日暮に着き、泊まります。「資料集」3頁には、アツウシベツからの道筋を示しておきました。

8日、残雪の中をベカンベウシ(別寒辺牛、厚岸町)へ着き、ここからは船でようやくアッケシへ着き、泊まります。子モロからアッケシまで7日間もかかったことになります。しかも、残雪や雨でぬかるみになった道を、、、。(以下次号に続く)

郷土資料館・加賀家文書館のお知らせ
8月(■は休館日)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料 一般個人 300円 一般団体(10名以上) 240円
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.73

発行日 平成17年8月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記

初めて間近に見るコウモリの姿に、子どもたちは大喜びでした。次号でその様子をお知らせします。▲前号のコウモリ観察会のお知らせで、「ヒメホオヒゲコウモリ」とあったのは「ホオヒゲコウモリ」、「絶滅危急種」は「希少種」の誤りでしたので訂正いたします。(戸田博史)